

科目名	<b>判断推理 II</b>	科目分類	<input type="checkbox"/> 専門科目群 (第1グループ)
			<input checked="" type="checkbox"/> 総合科目群 (第2グループ)
			全学科 <input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択
			学科 <input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択
英文表記	<b>Judgment and Inference II</b>	開講年次	<input checked="" type="checkbox"/> 1年 <input type="checkbox"/> 2年 <input type="checkbox"/> 3年 <input type="checkbox"/> 4年
ふりがな	くすやま ひろあき	開講期間	<input type="checkbox"/> 前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/> 通年 <input type="checkbox"/> 集中
担当者名	<b>楠山大暁</b>	修得単位	<b>2単位</b>
授業のテーマ	確率の基本を理解し、偶然とは何かを考える。		
授業概要	日常会話でよく、「あの人は運がいい」などと言うことがあります。「運がいい」、「運が悪い」を分けるものを単なる「偶然」として片付けてしまってもいいのでしょうか？ そもそも「偶然」とは一体何でしょうか？ 本講義では、確率論の基本を学ぶことによって、「偶然」の持つ積極的な意味を理解することを目指します。		
到達目標	主として、公務員試験の判断推理における確率分野の問題が解けるようになる。		
授業時間外の学習	授業で扱う内容をしっかり復習してください。 期末試験のほか、中間テスト、小テスト、レポート等を課します。		
履修条件	公務員試験合格及び確率論の基本の習得を目指している人のみを対象とします。		
授業計画			
第1回	ガイダンス、確率とは何か？		
第2回	無知のヴェール ロールズの思想とナイトの不確実性		
第3回	確率と社会の平等性		
第4回	集合論		
第5回	場合の数 (1)		
第6回	場合の数 (2)		
第7回	確率の基礎		
第8回	中間テスト		
第9回	反復試行の確率		
第10回	ベイズの定理		
第11回	二項分布 (1)		
第12回	二項分布 (2)		
第13回	公務員試験問題演習 (1)		
第14回	公務員試験問題演習 (2)		
第15回	総まとめ モンティホール問題と人生について		
第16回	定期試験		

テキスト	小島寛之(2004)『確率的発想法』日本放送出版協会
参考文献・資料	田辺勉(2000)『初級公務員試験 よくわかる数的推理』 植島啓司(2007)『偶然のチカラ』集英社新書
成績評価の方法	<p>【小テスト(10%)、レポート(20%)、中間テスト(30%)、定期試験(40%)】 上記評価項目を基にして総合的に判断します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出席回数が規定に満たない場合は試験を受けることができません。</li> <li>・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。</li> <li>・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。</li> <li>・授業中に小テストを数回実施します。</li> <li>・レポート課題は授業内で提示します。</li> <li>・授業の理解及び予復習が充分であることを確認するため、第8回授業時に中間テストを実施します。</li> </ul>
オフィスアワー	<p>毎週月・木曜日 13:00~14:30 ※これ以外の時間帯は必ず事前に予約してください。</p>
学生へのメッセージ	公務員試験をきっかけにして、偶然とはどういうことか考えてみてください。